

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	あまり面会に来られない家族に対し十分な連絡ができていない。	あまり面会に来られない家族に対しても利用者の生活等を知っていただく。	月1回メッセージカードを家族の元へ送っているがその他にも行事等があるときには家族に連絡しできるだけ足を運んでいただけるように取り組んでいく。	6 か月
2	11	会議等に出席できなかった職員が見ていなかった事があった。	会議等に出席できなかった職員に対しての会議録の確認を徹底する。	会議録の様式に回覧印の枠を作り必ず周知徹底ができるようにする。計画作成担当者が回覧の最終確認を行い漏れがないように取り組んでいく。	3 か月
3	6	監視カメラでの安否の確認による利用者の心的負担とそれによる弊害をなくしてほしい。また利用者の安全を確保しつつ抑圧感の無い自由な暮らしの支援に取り組んでほしい。	利用者の安全を確保しつつ抑圧感の無い自由な暮らしの支援を実施する。	特養夜勤者や宿直者との連携を検討し利用者の心的負担とそれによる弊害をなくしていく。また、安全面についても検討し抑圧感のない自由な暮らしを送っていただける等に取り組んでいく。	12 か月
4	30	利用者や家族の希望等が遠慮無く話し合えるようにしてほしい。	利用者や家族の要望や希望を遠慮無く話していただけるようにする。	利用者や家族が遠慮無く話ができるよう日頃から積極的に会話をし信頼関係の構築に努めていく。	3 か月
5	33	看取り体制の整備を検討されたい。	看取り希望の利用者や家族に対しての支援体制を整備する。	看取り希望の利用者やその家族に対しての支援体制を検討し、人員的なことも含め介護の必要性等についても話し合いをおこなっていく。	12 か月
6	35	ユニット間で距離が離れているので災害対策を検討されたい。	夜間の災害時の対応を整備する。	夜間の災害時の対応についてはGHだけでなく特養の職員も含め法人全体で検討をおこなっていく。	12 か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。